

支援センターの支援具

地域支援センターでは、本校に在籍している児童生徒やそのご家族の支援に加えて、地域の方々や教育や療育に関係するの方々に対して相談や情報提供を行っています。コロナ禍ではありますが、感染防止に留意しつつ、支援具・教材の貸出をしています。今回は姿勢についての相談事例と支援センターの支援具をご紹介します。本校在籍の児童生徒の皆さんにも貸出をしていますので、**興味のある方は、担任の先生を通して支援センターまでお知らせください。**



長時間、正しい姿勢で座るのが難しいです。
どうしたらいいですか？

学校生活や家庭生活のなかで、座っている時間は以外にとっても長いです。姿勢についてのお悩みをよく聞かせていただきます。支援センターの支援具を活用した事例です。

事例1 椅子に座ると、すぐに腰が前にずれてしまい、足を伸ばしたり、足を組んだりしていましたが、SUPPOを使うとお尻と太ももが安定して、姿勢がよくなりました。

事例2 椅子に座ると、すぐに立ち上がっていたのですが、SUPPOを使用することで、お尻の不快感（冷たさや椅子の硬さなど）が減って、長時間座れるようになりました。

事例3 座ると身体をよく動かしていたのですが、ザフを使用することで、上半身と下半身が包み込まれて、体幹を安定させて座れるようになりました。

正しい姿勢は、

- ① 身体の構造として考えると、背骨を含む骨・関節や筋肉が正常で最小限の力で姿勢が保持できる状態。
- ② 座ったときに、体幹（背骨）や体重のかかる太もも裏・座骨の下半身のバランスが保たれている状態。**正しい姿勢の習慣が身につくサポート用具のご紹介**です。



座位保持クッション SUPPO

- ウレタン製のクッションで、お尻の部分と太ももの部分がくぼんでいるため、深く座れます。
- 腰の位置がずれないので、座った姿勢が安定して足がすべりにくくなります。
- 手作り用も販売されています。



背筋が伸びる

身体の傾きを防ぐ

カガック

- 座面の前部と後部に段差があり深く座れます。
- 段差があるため、座る位置が前にずれません。
- 座面後部の傾斜により背筋が伸びます。
- サイドサポートにより身体の傾きを防ぎ、座る向きや、足の開きを整えます。
- 座る位置がずれず骨盤の傾きをふせぎます。椅子につけて姿勢保持、ずれの防止に使えます。

椅子ずれ防止シート

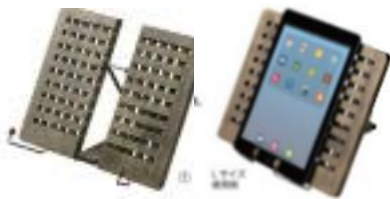
- 椅子の背面や座面に貼ることで座った時の姿勢保持に役立ちます。
- 背面と座面に貼ってあるので、滑りにくく、正しい姿勢を保ちやすいです。
- 椅子の冷たさが改善できるので、座ったときの不快感がないです。



アシスト ザフ スクール(姿勢保持椅子)

- 身体を固定するのではなく、ゆだねることで安定できます。
- 座面がしっかりと固定でき、お尻が動いてもフィットします。
- 立体で包み込まれるように座れて、骨盤が安定します。

机での学習が楽になるグッズのご紹介



アンティークフックスタンド

- 本や iPad の厚さに合わせ調整できる回転式のページ押さえ。
- 5段階の角度調整。
- 軽量で折りたたみもできます。



通気孔付き 書見台

- 縦長の用紙に対応できるため上部に伸ばせます。
- 本を載せたままページが送れるホルダー付きです。



書見台

- 3段階の角度調整できます。
- クリップを上には伸ばせます。
- 中央部にはかきサイズの紙を挟むことができます。



岐阜本巣特別支援学校

地域支援センター（担当：特別支援教育コーディネーター 高田）

TEL 058-239-9712

E-MAIL c27398@gifu-net.ed.jp

センター直通携帯電話 090-6806-3774